



千年の森づくり 構想

鎮山 親水
(ちんさん しんすい)
自然と親しいと同時に小布さと知り、
自然との関わり方を見直す。
人と自然の言語和。

熊本県山江村

【目的】

- ▶ この構想は、山江村、村民、地域の企業、関係団体で協働で、自然災害に強い森を育て持続可能な林業を通じて地域社会を豊かにし「鎮山親水」の考えを実践することを目的します。

※「千年の森づくり構想」は多方面からの社会貢献と地域活性化を目指す総合的なプロジェクトとなります。それぞれの要素が互いに補完し合いながら、地域社会の発展に寄与するのを目的としています。

【具体的な目的】

- ▶ 復興と環境保護

令和2年災害からの復旧・復興を通じて、災害に強い森づくりを実践し、次世代に渡る持続可能な自然環境をつくる。千年後の未来に残す貴重な森をつくる。

- ▶ 林業(森林業) の成長産業化

地域経済の活性化を図るため、林業(森林業)を成長産業と位置付け、新しい雇用を創出する。

- ▶ コミュニティの育成

森林を核とした地域コミュニティの醸成を促進し、人々が共に学び、ともに育てる場を提供します。

事業の期間と期間ごとの目標

- ▶ 事業計画の期間を、短期(5年)、中期(5～50年)、長期(50年～)として、事業期間を設定。
- ▶ 【短期目標】
 - ・森林の有効活用を目的に、伐採と再植樹を実施。
 - ・地元の学校や企業との連携を強化し、植樹イベントやICT技術を用いた学習プログラムを導入。
 - ・【やまえGREEN整備事業】（森づくりの拠点整備事業）※本事業の中核
- 【中期目標】
 - ・山江村産の木材をブランド化、「山江杉（山恵杉）」「山江檜（山恵檜）」として市場を開拓。
 - ・伐材の再利用を推進し、バイオマス発電等の再生エネルギーの導入を促進。
 - ・カーボンオフセット事業の促進。森林整備事業によるJクレジットの創出
- 【長期目標】
 - ・大径木のモデル林の維持・管理を通じて千年の森を育成。
 - ・災害に強い森づくりに焦点を当てた森林整備の実践。（混交針広林の導入等）

【実施計画】 アクションプラン

(1) 【やまえGREEN整備事業】

本プロジェクトの中核として、大径木モデル林を整備していく、その周辺の森林整備を村民、地域団体、民間企業と協働で行います。これにより、地域の産業振興、教育、レジャー、スポーツ各分野の推進を行います。

①企業と協働の森づくり事業

村民と関係団体、本事業に協賛いただく企業と協働で森づくりを実施。

②大径木モデル林事業

樹齢100年以上の木に囲まれた交流施設（キャンプ施設等）をシンボルとした森づくりを実施

(2) 【各カテゴリー別の実施計画】

①産業

- ・ 地域ブランド「山江杉（山恵杉）」「山江檜（山恵檜）」の確立と市場の展開の実施。《中・長期》
- ・ ICT等を活用した最新技術を活用した森林整備や技術革新を推進。《短・中期》

②教育

- ・ 環境教育の実施（地元の学校と協力し、森林を学ぶカリキュラムを開発）《短・中期》
- ・ 教育の現場として活用（幼児教育や校外学習の実施）《短期》

【実施計画②】 アクションプラン

③レジャー

- ・キャンプ場の整備や自然活用したツアープログラムを開発提供。《短・中期》
- ・観光資源としての魅力向上（交流人口増を目指す四季折々のイベントを実施）《短・中・長期》

④スポーツ・健康増進

- ・アウトドアスポーツの拡充（トレイルランやマウンテンバイクのコース整備）《短・中・長期》
- ・健康増進プログラム（森林浴ツアーやフットパス）の実施《短期》

⑤防災

- ・災害に強い森づくりの実践（針広混交林や再造林の実施）《長期》
- ・水源涵養を高める森林管理の研究《中・長期》
- ・森林所有者向けの災害に強いモデル林の設置《中・長期》

協定内容

本構想の中で、企業と連携して実施する内容

【やまえGREEN整備事業】

①企業と協働の森づくり事業

本村と協定（5年間）を締結し、森林整備を協働で実施。

造林や間伐（大径木モデル林）

カーボンオフセットによる地域貢献活動（SDGS）

※熊本県による森林吸収量認証制度を活用。

②拠点整備事業

【想定している拠点】

- シンボルとなる大径木のモデル林

樹齢100年以上を超える木々に囲まれる場所

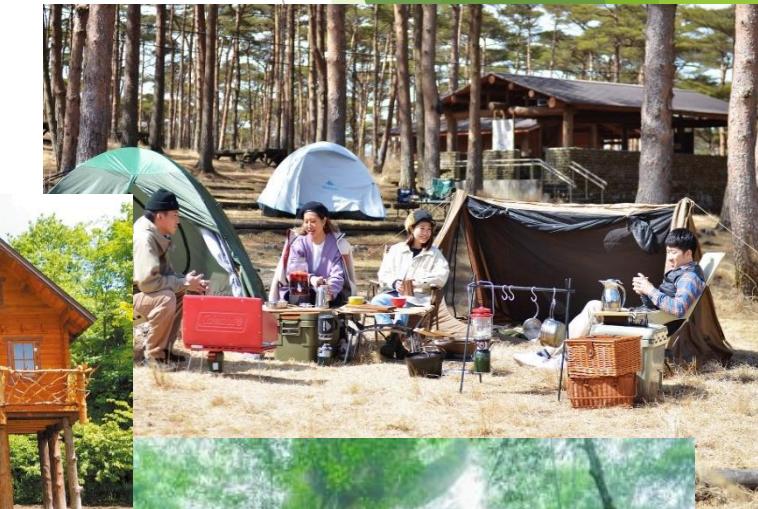
- 森林の様々なイベントができる広さ

- キャンプ施設を備えた施設

想定される施設概要

想定される施設概要

- 施設管理費用
- トイレの設置
- 水場の設置（井戸）
- 管理棟（ログハウス）建設



拠点整備後の事業

拠点整備事業に伴い、人々が森に足を運んでいただくためにイベントを実施。

イベント内容【案】

- ・植樹活動の実施
- ・森のお話会(絵本の読み聞かせ等)や音楽会の実施
- ・地元産物の出店(山江村産や万江川、山田川の恩恵を得た人吉球磨の産物)
- ・地元ジビ工を活用したキッチンカー等の出店
- ・最新林業機械の展示会等



本事業のスキーム図

【やまえ G R E E N 整備事業】
(拠点地) 大径木モデル林



協定の締結
※資金提供
※ボランティア
※イベントの協力

【協力団体】
民間の企業 山江村民
山江の関係団体 流域の関係団体

- ・4カテゴリー（産業、教育、レジャー、スポーツ・健康増進、防災）を森林の空間を活かした事業イベントや拠点整備
- ・木材のブランド化
- ・災害に強い森づくり

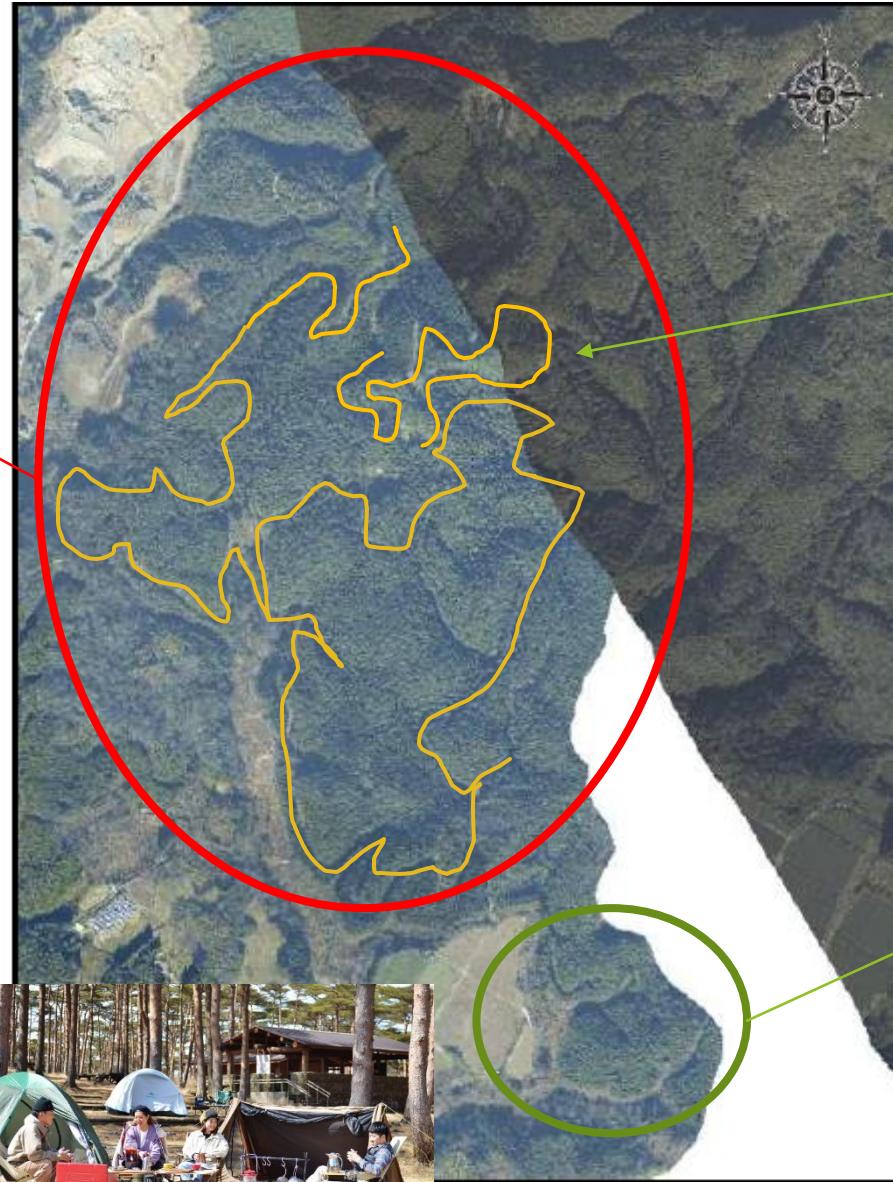
- ・森を中心とした交流人口の創出
- ・林業の担い手の解消
- ・森林所有者の所得向上
- ・森林整備の促進

本構想の位置図



詳細な位置図

林業施業を実施する
新層林団地
約60ha



作業道を活用したトレイルランや
マウンテンバイクコース
黄色の線については、作業道

大径木のモデル林
本事業拠点地
約2.0ha

ステークホルダーと役割

- ▶ 山江村：プロジェクトの管理・運営、地元コミュニティとの連携
- ▶ 地元企業：資金と技術的支援、ブランド化戦略協力
- ▶ 村民・関係団体：ボランティア活動、イベントの開催と参加

コミュニケーション戦略

- ▶ 広報活動：地域メディア、SNSを通じた情報発信
- ▶ 関係者コミュニケーション：各関係団体へ進捗報告と意見交換を隨時実施